

議事録

会議の名称	第3回別府市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和4年8月9日(火) 13:30~14:50
開催場所	別府市役所4階 4F-1会議室
出席者	委員:清水委員、後藤委員、福谷委員、中山委員、平石委員、上里委員、 入田委員、日名子委員 (※平岡委員、河原委員 欠席) 事務局:山内室長、岡崎補佐、首藤主査

≪会議の内容≫

■議題(1) 令和3年度協働推進事業の実施状況

協働のまちづくりの推進に関する施策の令和3年度実施状況のうち、前回の委員会で未報告の基本施策について事務局から委員会へ報告。

委員からの意見等は下記のとおり。

[基本施策⑤ 取組の評価や見直しの推進]

- ・協働事業においては、目標を設定し、進捗を管理していき、自己評価へとつなげることが重要。そのための仕組みづくりが必要だと思う。その繰り返しにより、事業を充実させていってほしい。
- ・市の行政サービス事業に加えて、協働して実施すべき事業が多くなっているため、その評価・事業の改善は重要である。
- ・取組内容については、質や量で評価し、見える形で、協働の担い手と共有すべきである。

▶次回委員会では、これまでの委員の意見等から評価結果をまとめる。

■議題(2) 人材育成について

協働を推進する上での「行政」における人材育成について、これまで市で実施した取組、またその中で見えてきた課題について事務局から報告し、意見交換を行った。

委員からの意見等は下記のとおり。

- ・世代により考え方や感覚の違いがあるため、若い世代は、まず参加することから始めてはどうか。
- ・既成概念に捉われず、新しい発想を生み出せる環境づくりが、人材を育成する上では大切ではないか。
- ・協働事業に参加し、自分なりの協働を体得することが有効だと思う。
- ・地域と触れ合う事業には、積極的に参画を促してほしい。
- ・「委託」事業も協働の手法の一つだが、委託した業務に職員が関わらない体制を感じる。協働の視点から、それぞれの強みをいかして、一緒に取り組まなければいけない。
- ・新たな協働事業を考えるのではなく、いま取り組んでいる事業に協働の意識をもって取り組

んでもらいたい。

・地域との協働によって得られる効果を体験することが大切である。

▶次回委員会においては、地域における人材育成についての意見交換を予定。

■議題(3) ひとまもり・まちまもり協議会の取組について

本市が進めている「ひとまもり・まちまもり支援事業」の概要、ひとまもり・まちまもり事業の令和4年度重点事業について事務局より説明した。また、デジタル環境を整えた事務所を開設した「山の手ひとまもり・まちまもり協議会」の一員である委員が、地域におけるデジタル推進の取組について報告した。

委員からの意見は下記のとおり。

- ・地域で人材を育成してデジタルを推進していこうという動きが、他の地域にも広がっていくといいと思う。
 - ・中規模多機能自治については、理解を深めてもらうため、引き続き住民へ説明していかなくてはいけない。
 - ・日頃からのネットワークづくりが大切で、相互に助け合う理念が協議会の取組へつながっていくと思う。
 - ・協議会活動を牽引するリーダーを系統的に輩出していくことが必要である。
- ▶報告事項があれば次回からの委員会においても報告し、意見交換していく。

委員会終了。